

平成26年度第1回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議

1 開催日時 平成26年5月19日(月) 午後3時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	片倉 憲太郎	委員	高橋 秀樹
副委員長	田中 直子	委員	杉本 宏一
委員	池田 美佐子	委員	平畠 亘
委員	藤野 宜英	委員	和田 幸子
委員	奥野 智禎	委員	大熊 賢滋
委員	松本 良二	委員	樋園 弘行
委員	眞藤 匡雄	委員	花澤 弘子
委員	小島 直子	委員	征矢 真理子

(欠席委員)

委員	竹元 悦子	委員	注連野 和美
委員	神崎 保		

4 出席職員

福祉部長	在原 昌秀
子育て支援課長	苅米 幹隆
子育て支援課子育て環境推進室長	今関 磨美
子育て支援課副参事(児童母子班長事務取扱)	今井 辰夫
子育て支援課副課長(保育班長事務取扱)	泉水 雄一郎
子育て支援課子育て環境推進室副主査	小久保 雄希
教育部学校教育課副参事(指導班長事務取扱)	庄司 三喜夫
教育部学校教育課副参事(学事保健班長事務取扱)	野呂 幸晴

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	3人

6 議 題

- (1) 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告
- (2) 子ども・子育て支援事業計画策定についての概要及び教育・保育提供区域
- (3) 子ども・子育て関連3法に基づく市条例制定の概要
- (4) その他

7 議 事

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言。 ・片倉委員長、挨拶。 ・在原福祉部長、挨拶。 ・委員、自己紹介。 ・職員紹介。 ・議事進行を片倉委員長に移す。
議題(1) 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告	
事務局	説明
花澤委員	アンケートでは保育面の質問が主だったが、保育面でも土日のニーズがあるということは、健康診断や予防接種といったことも、平日だけでなく、土日でも受けられるようにしてはどうか。
事務局	担当が健康推進課になっているので伝えたい。
田中副委員長	資料15ページの4番目の課題ですが、子育て拠点支援事業の利用が1割となっている。子育てはっぴー・ネットなど紙媒体以外で情報を発信していると思う。居場所づくりなどの活動にも「ネットや携帯などで知った」ということで来られる方も増えている。アクセス件数などは把握していますか。
事務局	子育てはっぴー・ネットは平成22年5月にスタートしており、サイトへのアクセス件数は5,697件(年)で、1日あたり15.6件となっている。
平島委員	データとして、専業主婦がいる家庭と共働きの家庭では傾向が違ってくると思われるので、例えば57ページのように土曜日の利用希望などは別々に整理して見るべきではないか。また、学童保育のニーズについては、5歳児以上のみを対象としているのか。それで分析としては大丈夫か。
事務局	調査全体については0～5歳だが、ニーズの算出に際しては国から算出方法が示されており、学童保育のニーズについては5歳児を対象にして行うこととなっている。

小島委員	資料15ページの課題については、自分が参加している活動と似たような結果となっている。こんにちは赤ちゃん訪問事業をさせていただいているが、長浦地区では近くに見てくれる人がいないとの声を聞いており、似たような傾向だと感じている。また、子育て支援の情報が周知されていないように感じられ、子育てブックなどを渡すと喜ばれることが多いので、今後も周知していきたい。
議題(2) 子ども・子育て支援事業計画策定についての概要及び教育・保育提供区域	
事務局	説明
平島委員	地域ごとに施策を考えていく上で、ニーズ調査では6地区で分析したが、それをそのまま使用せず、これを3もしくは4地区にしたい理由は何か。
事務局	今回の計画では量の見込みを出すことになるが、6地区では算定していくには小さすぎてしまうため、3または4地区にまとめたいと考えた。
平島委員	それは6地区で算出するには手間がかかるとか、コストがかかるといふことか。
事務局	手間やコストという面ではなく、それぞれの地域の持つ日常生活圏域、生活実態に即したものとしてまとめたものである。
平島委員	根形地区は人口の比率が市全体の10%だが、なぜ独立させているのか。
事務局	根形地区は以前から生活圏域が独立している。
平島委員	根形地区の人口を考えると、6地区で算出するには小さいという説明と合致しないのではないかと。慣例ということか。
事務局	確かに人口は少ないが行政区分的にも根形地区は根形地区として行ってきた事もあるのでこれで進めたい。
平島委員	効率などの面から考えれば、根形地区と平川地区を一緒にしてはどうか。ニーズ調査の傾向も近いものがあるし、人口のバランスも良いのではないかと。
事務局	日常生活圏域は袖ヶ浦市は古くから、昭和・長浦・平川・根形という独立した圏域でやってきた経緯がある。
高橋委員	4地区の方が施策が進めやすいといった事情も理解できる。
平島委員	施策が進めやすいという点では、4地区を3地区にした方が効率的ではないかと。
高橋委員	これまでの地区の流れというものもある。
議題(3) 子ども・子育て関連3法に基づく市条例制定の概要	
事務局	説明
全委員	(意見特になし)

議題（４）その他	
大熊委員	<p>長浦地区で子どもを見てもらえないと回答した世帯が18.6%とかなり高い。これについて、長浦地区に早々に対策を用意したりすることはあるのか。地域子育て支援拠点の知名度・利用率なども低かったので、そのあたりを上手く使ってカバーするアクションはいつ起こすのか。そういったことはどんどんやっていったほうが良いのではないか。また、吉野田・中川の両保育所が定員割れをしている、といったような情報を地域住民と共有するというようなことを積極的にやれば良いのではないか。せっかくの良いデータなのでどんどん動いたほうが良い。</p>
事務局	特になし。
片倉委員長	本日の議題について終了。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議は7月8日の予定となっている。 ・ 閉会宣言。 <p style="text-align: right;">以上</p>